

～水～
【発達領域】世界の探索



たらいに用意された水を見つけると一目散に駆け出す子どもたち。水の中に両手を入れて「わ～！」と声をあげながらさっそく「バシャバシャ」と水に触れ始めました。子どもたちに「つめたいね～」と声を掛けると「つめた～い！」と言葉がたくさん聞こえました。

プラスチックのコップや計量器が用意されているのを見つけると手に取り、コップで水をすくったり計量器を使ってコップに水を入れたり様々なやり方で水を汲み始めました。そしてコップ一杯に水が溜まると「いっぱいになったよ！」と見せてくれた子どもたち。「いっぱいになったね！」「コップに水がいっぱい入ってる～」と声をかけると「いっば～い！」と言う反応が見られ、「いっばいある」という感覚を知ることができました。コップに水をたくさん入れた後は、ひっくり返して「ジャ～」と水を流して空にし、再度水を入れることを繰り返していました。

たくさん水に触れたことで冷たい水が気持ちいいと感じたり、「チャフチャフ」「ぼちゃん」「ジャボジャボ」などたくさんの水の音に触れたりすることができました。水にも冷たい水や温かいお湯、雨の水などたくさんあり、子どもたちもたくさんの気づきがありました。お家でもいろいろな水を探して触れてみてください！



バケツに水を溜めて砂を入れると、子どもたちも真似をして砂をたくさん入れ始めました。水に入れることで、サラサラの砂がドロドロになり、手で触って感触の変化にも触れることが出来ました。そしてバケツ一杯に砂を入れると水が吸収されたことに気づき、「ない！」と教えてくれる子もいました。

お兄さんお姉さんが大きなたらいで泡に触れる活動をしていると興味を示し、混ぜてもらい一緒に遊びました。

お風呂に入っているかのように腕を洗い始めたり、たらいの中でかき混ぜていっぱい泡立てることを楽しんでいました。



あわあわ～



室内では氷に触れてみました。水とは違った冷たさに始めは少し驚く子どもたちでしたが、大きな氷に興味津々で夢中になって触れていました。氷を持った時にツルツルしているため、手から滑り落ちると「あ！」と子どもたちは驚き、「ツルツルしてるね～」と声を掛けると「ツルツル？」と言葉が出ました。また、氷で少し冷たくなった手を頬にあてると「つめたい！」と言う子や「わ～」と反応する子がいて、肌で氷の冷たさを体感することができました。



氷が溶けて水になると氷が“ない！”と気が付いたり、水になって床が濡れていると「びちゃびちゃ」と教えてくれたり氷から水に変化していく様子を見て知ることができました。床が水で濡れているところを保育者が雑巾で拭いてると真似して一緒に床を拭いてくれる子もいました。



【大工さん】

ペグを上からの穴から入れると中に入っているペグが押し出されて横から出てきます。

箱の上部には穴がいっぱい開いていますが、箱の中に繋がっている穴は1つだけで、残りの穴はペグを立てておくための穴です。

ペグを上部の穴に置いたり、指で押し込んだりつまんだりすることを繰り返すことで、指先の発達に繋がります。

また、ペグは1個だけ入れても出てきません。数を増やしていくと少しずつ押し出されていく仕組みになっていて、箱の中の通り道がいっぱいになると横の穴から飛び出てきます。この様子を観察することができるのもおもしろさの1つです。

NIC SPIELZUEG (ニック社)



7月生まれのおともだち



Happy Birthday

